



令和7年度 No. 16 鴻小だより

令和7年12月25日
伊丹市立鴻池小学校長
栗生桂治

学校教育目標「ひとみ輝き 笑顔あふれる 鴻池小学校」

2学期を振り返って！ その2

【音楽会】 11月22日(土)には、音楽会を開催しました。保護者の皆様にはご参観いただき、子どもたちの頑張りに温かい拍手を賜りありがとうございました。音楽会では、学年全員の心が一つになり、一つ一つの音が響き合い、見事なハーモニーになりました。その感動が体育館全体を包み込み、ご家族の皆様にも届いたことと思います。子どもたちにとって思い出に残るすばらしい音楽会になりました。

前半の1年生は、鍵盤ハーモニカの演奏を頑張った「さんぽ」、「だれにだって おたんじょうび」では、自分の誕生日ごとに元気に返事をして、「おおきな かぶ」はカブを引き抜く演技も見所で、最後の「キラキラぼし」は、夜空に輝く星のようにみんなキラキラしていました。



3年生は、命がずっとつながる奇跡を歌った「満天の星が歌うように」、日常の何気ない幸せや希望を表現した「YUME日和」は、歌詞の内容を表現するような暖かさが伝りました。「おさるのマンボ」は、リコーダーの美しい音色が見事に奏でられ、最後の「Y.M.C.A.」では、みんなの気持ちが一つになった素晴らしい演奏とダンスを披露してくれました。



5年生は、カスタネット奏「アルカサルの夕暮れ」ではカスタネットの音が見事にそろい、タンブリン奏「ミラクルタンブリーナ」は、心地よいリズムが体育館に響きました。そして、

素晴らしいハーモニーを奏でた合唱曲「Believe」、最後の「アフリカン・シンフォニー」ではパーカッションのリズムにのって、いろいろな楽器によるメロディが重なり非常に魅力的な合奏でした。



後半の金管バンドクラブは、温かい歌詞を表現した演奏の「ストーリー」と明るいリズムの「ツバメ」の演奏、どちらも心温まる演奏でした。

2年生は、音楽ものがたり「スイミー」で元気に泳ぐスイミーの姿が目に浮んできました。合奏の「小さなせかい」は、音楽会に向けて何度も練習を重ねてきた鍵盤ハーモニカや打楽器などの素晴らしい音色が響いていました。



4年生は、合唱の「手をつなごう～共に生きる～」は、みんなの心が一つになった見事なハーモニーでした。そして、合唱/リコーダー奏「It's a small world」では、軽快なリズムにのり歌とリコーダーで曲を表現しました。合奏「ソーラン節～さくらまう～」はソーラン節の豪快な踊りもあり、会場全体を沸かせてくれました。

6年生は合唱「カリブ 夢の旅」で見事なハーモニーを披露し、「アイノカタチ」では合唱に加えリコーダーの美しい音色を響かせてくれました。最後の「Departure ~GOOD LUCKより~」では、6年生ならではの迫力に加え、見事な表現力で会場にいるみんなが引き込まれる演奏でした。ご家族の皆様にも来場いただき、子どもたちにとって思い出に残るすばらしい音楽会になりました。ありがとうございました。